

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390400410
事業所名	グループホームソラストゆうか小田井

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入しており、回覧板で地域の情報を得ている。地域の人の認知症や事業所についての相談を受け付けている。また、事業所内にあるコミュニティルームを地域の人に貸し出しており、今年度は二件の利用があった。コロナでの制限が解除に向かうので、地域との交流も復活させていきたい。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議を今年度は4度しか開催できなかった。書面でいきいき支援センターと家族へ会議の内容を送付していたが、次年度は実地開催で6回行う予定である。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	事業所で生活保護受給者を受け入れており、担当部署との連携はあり、連絡は密に行っている。介護認定更新は電話で連絡を入れている。各種研修の知らせは届いている。今年度はいかなかったが、該当する職員がいれば研修に参加するつもりである。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族にあてて写真と様子を伝える手紙を送付している。この送付頻度を月に一度にあげていこうとしている。利用者の様子に変化があれば都度、なくても月に一度以上電話連絡をいれ、その際に家族からの要望をきくようにしている。食事の量が減った時に家族からきいた昔の好みとか、職員が見つけた利用者の趣味などは連絡ノートで共有し、支援に活かしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	×	×								

備考欄

--